魯文譯
芳虎画

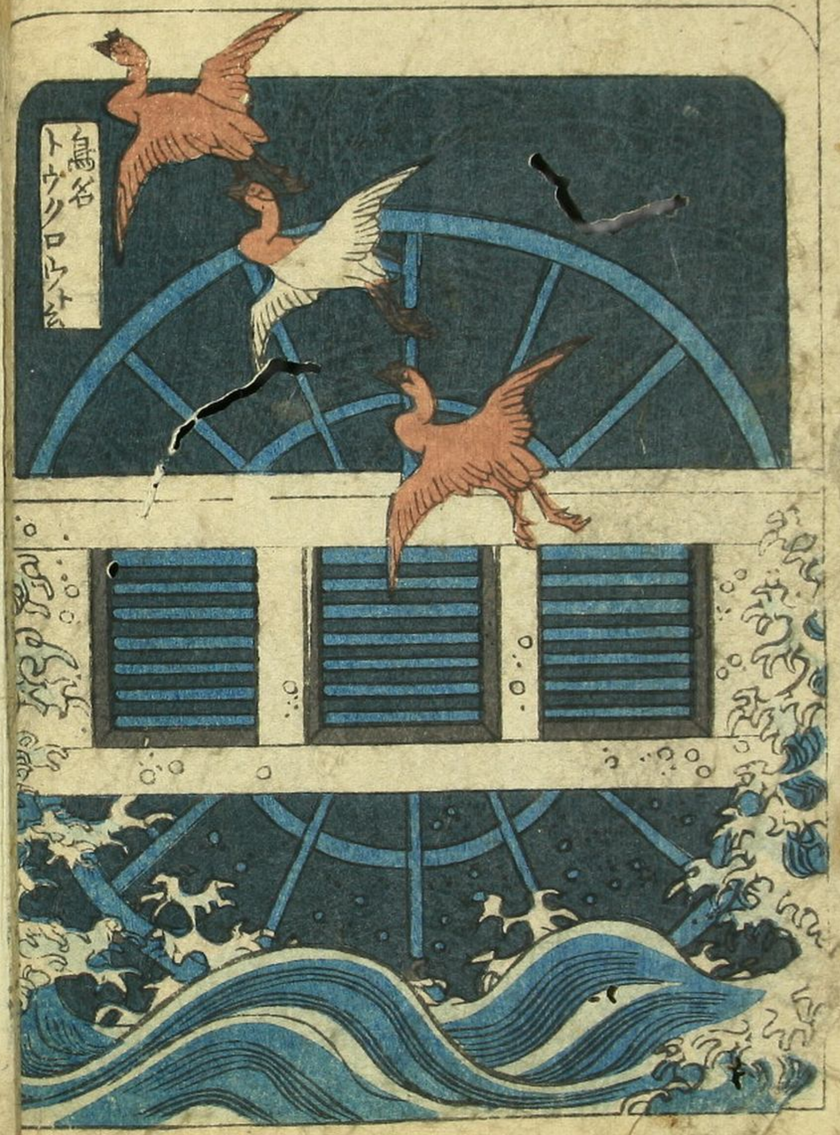
上

山田屋板

A379

童繪解萬國噺

三編之下卷

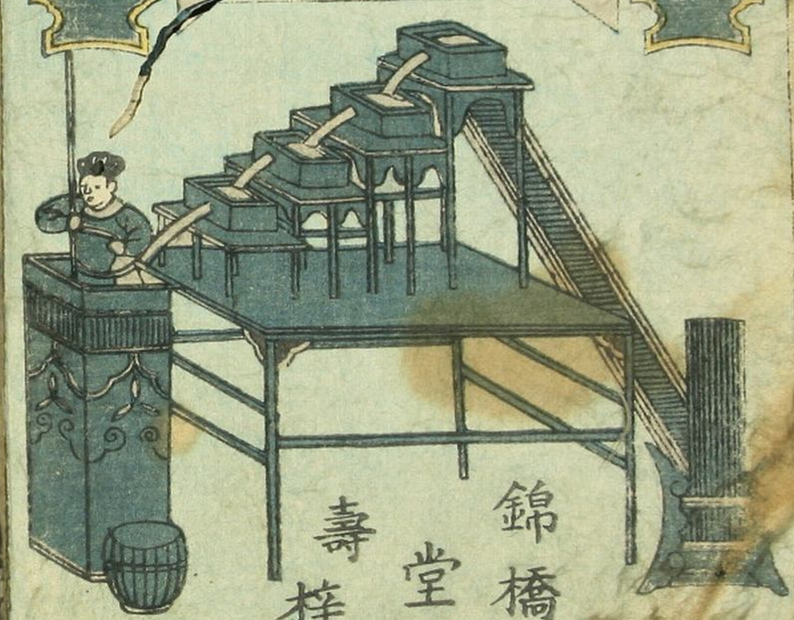


假名垣魯文譯

童繪解萬國噺

初編上巻

孟齋芳虎画



錦橋堂壽梓

48-7990

梅松愛せぬ菅神の詠歌。海と山千里を隔てども人も物言かくは文字は機とはたらく孫のひも宜なる哉文化盛典乃徳なる。居ながらにして海外萬里の情態を精通、欧羅巴諸蠻の治乱を覈明す。泰平の恩沢仰尊むべきことゝ然と雖。漢蘭の異文外藩の宇音我童蒙婦女の為み讀安からぬ。茲に於て。皇國假字の解和げ。萬里外の情景を諸書の中より撰翠して萬国話と号るめり。春日秋夜の長きに供の。御伽草紙とのみ而已

萬延二辛酉春

假名垣魯文記

魯西亞國

此国ハ歐羅巴洲と亜細亜洲ふまたがりる地ふて本都を伯德ろと中奥の大祖帝アレキハ才徳をぞれ大いふ其版圖を聞き帝の位を保つ帝崩て後如加太里那女帝の位ふ即ち今の代執てより其国まるまく聞ろとそ

英吉利國

此国ハ歐羅巴洲西の方の海中ふある大島国ろり中奥版圖大いふ女王莊那の世ふ當りて思可齋亞島意而蘭土島を併有總称そ大蒲利丹厄亞と其都府ハ蘭頓ろそ多模河の上ふあり地を分ちて五十二州と

佛狼西國

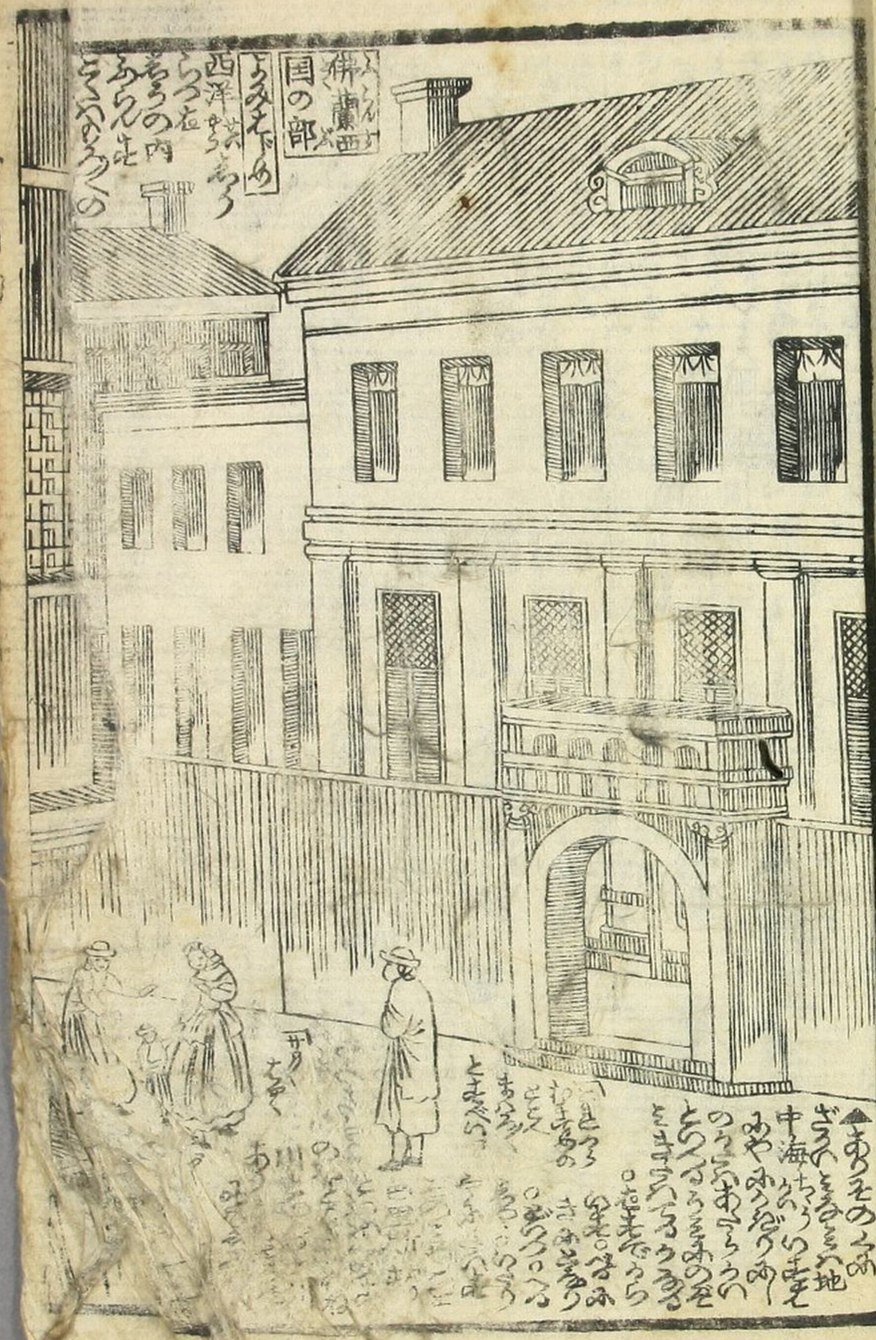
此国ハ阿蘭陀英吉利ト隣る大国ナレ都を巴里斯とのびセイ子河の畔ニあり古暦ハボウルボレ家統領セーヴ一度王家ろろび共和合衆国と為る後又変じて帝国となり那波列翁自立して一世帝と号しそのち同盟の諸国那波列翁を亡して故の王国となる

北亞墨利加洲之内

合衆国又共和政治州

此国ハ元來歐羅巴人の開拓地ニ

李侯大低我朝の都府を華盛頓とのふその国の海口カリボルニヤより船を出し萬国ニ往還して専貿易の道を盛んに通商を以て家産をとらく


佛蘭西国の部

阿蘭陀國
此国人民専ら技藝の妙をえ通商をもとし能天文地理に通じ格物究理の学に達し諸国の産物異類奇品を集て互市の大利を究む
大清國南京人

六十万人
あり〻

英吉利国部

○この人ゆへ
あるうらせ
あるうらみのかさのうるのうるみある
ひとつのあれまるまぐふあるりきさの
くのちをまとやとのふたの麦
めいれひよりゆ　ありてとまを

万国初

英吉利の女王諸侯の表を
請る図

王のごぜんのさーのさ

つぎは　ふね川ぐちふねあつまりあつまるにつのあつまるそこらのぼとしゆうろのめんづつあれようを一百まの五まんめんあままりとそこあれきるるぐくん者へみあるきそうのぐりぐくんせのまくまんめんあーのうれつきさきあてりこうたちあみゆでそれきあれをうもぎまうとつのみあれきるふねをつうこんらくみこうのうろくのあるのくを

▲ろうそくき
そそあるあのあるのろうけをそうたのあるまるふねのふまを二万八千八十ようそうふねのあるのかくめんをたくあのとくをのめしゆ十八万五十めれ国王のてぶね八百よそうふねのあーハまるを十のドをたあのぶま赤青白の三ろありとあんづくあらろまをもそうたを

010190509112

魯文譯 芳虎画

口中御藥 固齦散 大包代百銅 小包代三十二銅

切能
一 ものを 一 うきを 一 うみを
一 血のながれ 一 むしばきこれ
○男女ともの口中よりくさきを除く

清浄精製 白妙 一包代 廿二銅

此白粉は
粉ハのうへにぬりまぶしたる
方老もわかものもうしなひ
かりそめに用ゆべきこと
なかるべしかれの

寢小便大奇藥 一包代 百銅
夜ねしなに飲ませ小便
紀癖癖ともに小児男女

無病長壽 養生手引草 全二冊 京山翁著 廣重画

美玉百人一首 中本形 全一冊
紅梅百人一首 半紙大 全一冊

雛鶴笹湯壽 女中用文民手引草 絵入本 京山翁著

商言 伊賀越商言

賴三升曾 中言

新端唄 唄入本